

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成25年3月14日(2013.3.14)

【公開番号】特開2012-212470(P2012-212470A)

【公開日】平成24年11月1日(2012.11.1)

【年通号数】公開・登録公報2012-045

【出願番号】特願2012-161812(P2012-161812)

【国際特許分類】

G 06 M 7/00 (2006.01)

A 01 K 61/00 (2006.01)

【F I】

G 06 M 7/00 301B

A 01 K 61/00 D

【手続補正書】

【提出日】平成25年1月29日(2013.1.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

計数すべき個体を流体により搬送し、その搬送過程で個体を分散してカメラによる撮影及び撮影画像の解析により個体数の計測を行う、流体利用による個体計数装置であって、所定方向に傾斜し計数すべき固体が液体と共に流動する傾斜流路を備えており、前記個体数の計測のために、当該傾斜流路に透光性の底板により構成された計測部が設けられると共に、当該計測部に裏面側から拡散光を照射すべく、計測部の裏面側に拡散板を介して照明機構が配置され、計測部を上側から撮影するべく計測部の上側に前記カメラが配置された個体計数装置。

【請求項2】

請求項1に記載の個体計数装置において、拡散光は白色拡散光である個体計数装置。

【請求項3】

請求項1又は2に記載の個体計数装置において、照明機構は拡散光を計測部へ直角に照射する個体計数装置。

【請求項4】

請求項1～3の何れかに記載の個体計数装置において、前記カメラの視軸が計測部における透明底板の表面に垂直な線に対して傾斜している個体計数装置。